

執筆者紹介（執筆順、*は編者）

*益田 実（ますだ・みのる）はしがき、序章、第4章

1965年 山口県生まれ。
1994年 京都大学大学院法学研究科博士後期課程中退。博士（法学）。
現在 立命館大学国際関係学部教授。
著作 『戦後イギリス外交と対ヨーロッパ政策——「世界大国」の将来と地域統合の進展, 1945～1957年』ミネルヴァ書房, 2008年。
『冷戦史を問いなおす——「冷戦」と「非冷戦」の境界』共編著, ミネルヴァ書房, 2015年。

*齋藤嘉臣（さいとう・よしおみ）序章、第9章

1976年 福岡県生まれ。
2005年 神戸大学大学院法学研究科博士課程後期課程修了。博士（政治学）。
現在 京都大学大学院人間・環境学研究科准教授。
著作 『文化浸透の冷戦史——イギリスのプロパガンダと演劇性』勁草書房, 2013年。
『ジャズ・アンバサダーズ——「アメリカ」の音楽外交史』講談社, 2017年。

*三宅康之（みやけ・やすゆき）序章、第12章、あとがき

1969年 兵庫県生まれ。
2000年 京都大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学。博士（法学）。
現在 関西学院大学国際学部教授。
著作 『中国・改革開放の政治経済学』ミネルヴァ書房, 2006年。
『ビルマ連邦共和国の中華人民共和国承認外交』『アジア研究』第67巻1号, 2021年。

妹尾哲志（せのお・てつじ）第1章

1976年 大阪府生まれ。
2008年 ボン大学哲学部政治学科博士課程修了。Dr. phil. (Politische Wissenschaft)
現在 専修大学法学部教授。
著作 『戦後西ドイツ外交の分水嶺——東方政策と分断克服の戦略, 1963～1975年』晃洋書房, 2011年。
『歴史のなかのドイツ外交』共編著, 吉田書店, 2019年。

橋口 豊（はしぐち・ゆたか）第2章

1964年 鹿児島県生まれ。
1996年 名古屋大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学。博士（法学, 慶應義塾大学）。
現在 龍谷大学法学部教授。
著作 『戦後イギリス外交と英米間の「特別な関係」——国際秩序の変容と揺れる自画像, 1957～1974年』ミネルヴァ書房, 2016年。
『チャーチル政権と原爆, 1943～1945年（4）』『龍谷法学』第53巻第4号, 2021年。

青野利彦（あおの・としひこ） 第3章

1973年 広島県生まれ。

2007年 カリフォルニア大学サンタバーバラ校歴史学研究所博士課程修了。Ph.D. (History)

現在 一橋大学大学院法学研究科教授。

著作 『「危機の年」の冷戦と同盟——ベルリン、キューバ、デタント 1961—63年』有斐閣、2012年。

『現代アメリカ政治外交史——「アメリカの世紀」から「アメリカ第一主義」まで』共編著、ミネルヴァ書房、2020年。

山本 健（やまもと・たけし） 第5章

1973年 岐阜県生まれ。

2008年 ロンドン大学ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス (LSE) 国際関係史学部博士課程修了。Ph.D. (国際関係史)

現在 西南学院大学法学部教授。

著作 『ヨーロッパ冷戦史』ちくま新書、2021年。

『イギリスと新国際経済秩序、1974～75年』『法学論集』第52巻第1号、2019年。

鳥潟優子（とりかた・ゆうこ） 第6章

1970年 京都府生まれ。

2003年 大阪大学大学院国際公共政策研究科博士後期課程修了。博士（国際公共政策）。

現在 同志社女子大学現代社会学部准教授。

著作 'Re-examining de Gaulle's peace initiatives on the Vietnam War,' *Diplomatic History*, Vol. 31, No. 5, 2007.

「ベトナム戦後『インドシナ』復興援助構想にみる現代フランス外交の起源——『勢力圏』形成から国際機関の利用へ」『西洋史学』第247号、2013年。

三須拓也（みす・たくや） 第7章

1972年 広島県生まれ。

2005年 名古屋大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得満期退学。博士（法学）。

現在 東北学院大学法学部教授。

著作 『コンゴ動乱と国際連合の危機——米国と国連の協働介入史、1960～1963年』ミネルヴァ書房、2017年。

「コンゴ動乱を巡る米英関係——コンゴ国連軍と帝国秩序の動揺」『東北学院法学』第81号、2021年。

池田 亮 (いけだ・りょう) 第8章

1970年 大阪府生まれ。

2006年 London School of Economics and Political Science, International Relations Department, PhD Programme 修了。PhD for International History (The University of London)。

現在 東北大学大学院国際文化研究科教授。

著作 *The Imperialism of French Decolonisation: French Policy and the Anglo-American Response in Tunisia and Morocco* (Basingstoke: Palgrave Macmillan, 2015)。

「一九五六年基本法とフランス植民地帝国の変容——同化、自治、独立」『国際政治』第191号、2018年。

清水 聡 (しみず・そう) 第10章

1973年 東京都生まれ。

2005年 明治大学大学院政治経済学研究科博士後期課程修了。博士(政治学)。

現在 開智国際大学国際教養学部准教授。

著作 『東ドイツと「冷戦の起源」 1949～1955年』法律文化社、2015年。

『国際政治学——主権国家体制とヨーロッパ政治外交』法律文化社、2017年。

細田晴子 (ほそだ・はるこ) 第11章

1968年 東京都生まれ。

2005年 スペイン国立マドリード・コンプルテンセ大学現代史研究科博士課程修了。博士(歴史学)。

現在 日本大学商学部教授。

著作 『カザルスと国際政治——カタルーニャの大地から世界へ』吉田書店、2013年。

Castro and Franco: The Backstage of Cold War Diplomacy (London and New York, Routledge, 2019)。

芝崎祐典 (しばざき・ゆうすけ) 第13章

1970年 神奈川県生まれ。

2006年 東京大学総合文化研究科修了。博士(学術)。

現在 中央大学大学院法学研究科非常勤講師。

著作 『権力と音楽——アメリカ占領軍政府とドイツ音楽の「復興」』吉田書店、2019年。

「ドイツにおける『モダンアート』とアメリカの占領政策」『共通教育論集』第12号、2020年。

小川浩之 (おがわ・ひろゆき) 第14章

1972年 三重県生まれ。

2003年 京都大学大学院法学研究科博士後期課程研究指導認定退学。博士(法学)。

現在 東京大学大学院総合文化研究科教授。

著作 『イギリス帝国からヨーロッパ統合へ——戦後イギリス対外政策の転換とEEC加盟申請』名古屋大学出版会、2008年。

『英連邦——王冠への忠誠と自由な連合』中央公論新社、2012年。